

都市再生整備計画 事後評価シート(原案)
栗津温泉地区

平成22年11月

石川県小松市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	石川県		市町村名	小松市		地区名	粟津温泉		面積	36			
交付期間	平成18年度～平成22年度		事後評価実施時期	平成22年度		交付対象事業費	541百万円		国費率	0.401			
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		基幹事業	道路事業(市道 粟津町中2号線、市道 打木粟津線)、地域生活基盤施設(都市緑地、足湯公園、温泉中心広場、歩行系案内サイン、耐震性貯水槽)									
			提案事業	地域創造支援事業(総湯施設、足湯施設)									
	当初計画から削除した事業		基幹事業	なし		削除/追加の理由		削除/追加による目標、指標、数値目標への影響					
			提案事業	なし									
	新たに追加した事業		基幹事業	高質空間形成施設(バリアフリー対応公衆トイレ)		温泉街のそぞろ歩きの実便性向上のため追加		影響はない					
提案事業			事業活用調査(都市再生整備計画効果検証調査)		今後のまちづくりに活用できるため追加		影響はない						
交付期間の変更	当初	平成18年度～平成22年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響									
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期		
	指標1	温泉観光客数	人/年	330,000	H15	330,000	H22	358,000	360,000	○	あり	新総湯の整備による新しい観光スポットの誕生や温泉地のイメージアップ、温泉旅館のリニューアル等により、温泉観光客数の減少傾向に歯止めがかかり、温泉観光客数の増加につながった。	H24年8月
	指標2	総湯外来入浴客数	人/年	46,500	H15	70,000	H22	53,564	63,000	△	あり	新総湯の整備による温泉宿泊客や地元市内、市外からの利用増等により、外来入浴客数の減少傾向に歯止めがかかり、H20の開業から増加に転じ、一定の効果があり改善傾向が見られた。しかし、目標値が高すぎたため目標達成には至らなかった。	H24年4月
	指標3	まち歩き者数	人/10h	1,300	H17	1,600	H22	-	1,647	○	あり	新総湯の整備による集客施設の出現や歩道整備、案内サイン整備による歩行環境の向上、都市緑地、公衆トイレ等のたまり空間等により、まち歩き者数の増加に寄与し、賑わい再生につながった。	H23年6月
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期		
	その他の数値指標1	温泉玉子販売金額	千円/年	-	-	/		3,478	3,300	/	/	粟津温泉の新名物土産であり、新総湯の外来入浴客数の増加に寄与している。	H24年4月
4)定性的な効果発現状況	本事業実施にあたり、地元住民を核とする「粟津温泉街区まちなみ協議会」を通じて、事業の協議調整や情報発信を図り、まちづくりへの地元住民の機運づくりや協力体制の構築が着実にできている。また、構成員の中で女性を中心とした「ゆのはな会」がオリジナルストラップ、花植え、鐘突き堂等の独自事業を展開し、地元住民が主体となったまちづくりの芽が育ってきている。さらに、総湯を会場としたJAZZライブの開催や「おっしょまつり」の運営内容の改善等、新旧のイベント充実が一步一步進行している。												
5)実施過程の評価	実施内容		実施状況								今後の対応方針等		
	モニタリング	「統計から見た石川県の観光」等によるモニタリング		都市再生整備計画に記載し、実施できた				都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した				●	交付期間途中で供用した事業の効果を確認することができた。モニタリング同様に毎年度の本統計書等により確認する。
	住民参加プロセス	粟津温泉街区まちなみ協議会(町内会、各種団体、行政で構成)・道路事業、地域生活基盤施設、総湯施設等の整備内容について意見交換及び承認等		都市再生整備計画に記載し、実施できた				都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した				●	協議会を中心とした市民の主体的な活動とともに協働による取り組みを進めていく。
持続的なまちづくり体制の構築	粟津温泉街区まちなみ協議会による住民参加のまちづくりを継続		都市再生整備計画に記載し、実施できた				都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した				●	まちづくりの課題については、今後も市民との協働により進めていく。	

様式2-2 地区の概要

粟津温泉地区(石川県小松市) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値	
大目標:開湯1300年の歴史を誇る温泉情緒「山かげの御殿湯」の再生 目標1:粟津の顔づくり、地域資源の活用などを通じて、活力ある温泉街としての賑わいを再生する。 目標2:緑豊かな里山に囲まれた粟津温泉街の情緒を醸し出す魅力あるまちなみを創出する。 目標3:訪れる人、暮らす人が安全、安心、快適性を共有する、人にやさしい温泉街としての環境を整える。	指標1:温泉観光客数	単位:人/年	330,000 H15	330,000 H22	360,000 H22
	指標2:総湯外来入浴客数	単位:人/年	46,500 H15	70,000 H22	63,000 H22
	指標3:まち歩き者数	単位:人/10h	1,300 H17	1,600 H22	1,647 H22
	その他指標1:温泉玉子販売金額	単位:千円/年	— H	— H22	3,300 H22
		単位:	H	H	H



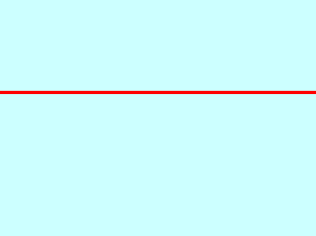
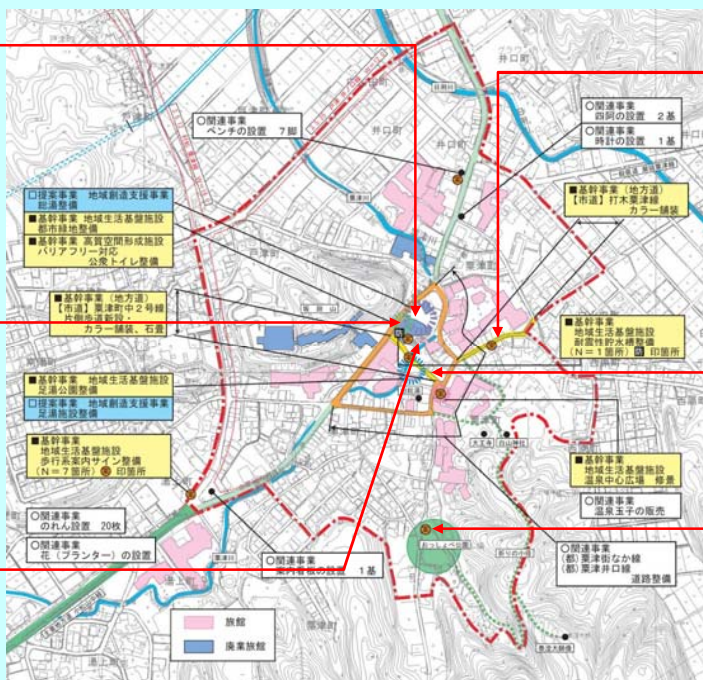
【提案事業】総湯整備



【基幹事業】地域生活基盤施設(都市緑地)



【基幹事業】高質空間形成施設(ハリアー対応型公衆トイレ)
【基幹事業】地域生活基盤施設(耐震性貯水槽)



【基幹事業】道路(市道 打木栗津線)



【基幹事業】道路(市道 粟津町中2号線)



【基幹事業】道路(市道 打木栗津線)



【基幹事業】地域生活基盤施設(歩行系案内サイン)

まちの課題の変化	<p>(課題1) 粟津の顔づくりと賑わい再生…整備した総湯が粟津の顔となり、総湯外来入浴客数の増加にもつながった。また、温泉観光客数の減少傾向に歯止めがかかり、増加に転じて賑わいがもたらされ、温泉地のイメージアップや賑わい創出が着実に進行している。</p> <p>(課題2) 魅力ある温泉街としての景観づくり…まちづくり協定の締結及び運用がはじまり、統一感のある景観づくりが一步步前進しており、今後は温泉街店舗の魅力創出が課題である。</p> <p>(課題3) 安全、安心、快適な温泉街の環境づくり…都市緑地整備及び公衆トイレ等の整備により、温泉街中心部の交流と休憩空間が創出されている。また、県道路事業による道路拡幅により、バス車両の進入の妨げになっていた区間の解消が見込まれ、安全、安心、快適な温泉街の創出につながっている。</p>
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<p>温泉観光客数や外来総湯入浴客数の減少傾向に歯止めがかかり、増加に転じ改善効果が見られているものの、温泉旅館と温泉街の周遊をセットにした相乗的な効果を持続させ、さらなる賑わい再生を図る事業を行っていく。まちづくり協定が締結及び運用され、魅力ある温泉街としての景観づくりがはじまっているものの、建物修景を積極的に誘発する支援制度の導入や温泉街個店の魅力アップを図る事業を行っていく。温泉街の歩行環境やバス車両の通行環境が向上したものの、持続的な維持管理を進めるにあたって住民等との協働による活動の検討も行っていく。</p>